

第1号議案 2022～2023年度運動方針に関する件

1. 総合労働条件改善闘争の取り組みを推進します

2023年総合労働条件改善闘争は、2年サイクルの中間年の取り組みとして位置づけ賃金・一時金を中心に取り組みます。労働協約関連課題については、政策指標達成に向けた取り組みや、労働法制見直しへの対応など、必要に応じて適宜取り組みます。

具体的な闘争方針については、2023年1月の幹事会開催時に第109回中央委員会議案オルグで説明します。また、地区闘争会議を2月と4月に開催し、要求の立案および闘争結果と課題について意見交換を行います。

2. 最低賃金の改善に向けた取り組みを強化します

法定電機最低賃金は、直接雇用の非正規労働者を含む電機産業に働く全ての労働者が、同一価値労働同一賃金の観点や公正競争確保を通じてサプライチェーン全体の健全な成長を促す役割が期待されています。「産業別最低賃金」（18歳見合い）の水準引き上げならびに年齢別最低賃金等の企業内最低賃金については、2022年闘争においても電機産業労使として社会的責任を果たす必要があるとの認識に至っています。法定電機最低賃金との連動を一層強めて取り組みを進めます。

法定地域別最低賃金についても、連合との連携を図って取り組みを進めます。

3. 総合的なセーフティネットの充実に努めます

(1) 「くらしの法律相談」の取り組み

組合員のセーフティネットの一環として、荒巻郁雄弁護士と司法書士「しずおか りぶあらいふ」と顧問契約を継続し、「くらしの法律相談」を引き続き実施します。顧問弁護士・顧問司法書士の委嘱については、第3号議案で提案します。

(2) 電機連合ハートフルセンターの取り組み

ハートフルセンターは、プロのカウンセラーによる組合員やその家族からの心の相談をはじめ、総合的なメンタルヘルスケアの窓口として広く活用されています。各会議などで加盟組合に対するハートフルセンターの活用PRに努めます。

4. 自主福祉運動の更なる推進に取り組みます

(1) 自主福祉を基本とした電機共済制度の展開

目標設定は未加入者の1.5%(ねんきん共済)、2.0%(けんこう共済)とし、中長期的には組合員の40%加入をめざした取り組みを進めます。目標達成に向け、幹事会でのフォローや「電機共済加入促進担当者会議」を11～12月に開催し、2022年の共済推進の方針や制度改善の周知を図ります。

「ねんきん共済」「けんこう共済」「ファミリーサポート共済」そして新入社員向けの「フレッシュアッププラン」などの制度周知を図り加入促進を進めます。引き続き、福祉共済センターと連携を取り、(株)マックス推進役とともに加盟組合への訪問活動やオンラインでの個別提案活動を通じ、各組織の理解を得ながら目標達成をめざします。

(2) ろうきん・こくみん共済 coop 運動の推進とユニオントラベルとの連携

ろうきん・こくみん共済 coop への派遣役員と連携を密にして、産別として組合員と生活者の安心・安全を保障する自主福祉運動に取り組みます。

ろうきん運動については「書記長会議」、こくみん共済 coop 運動については「電機静岡こくみん共済 coop 運営委員会」を開催し、活動の推進を図ります。

また、ユニオントラベルについては周知・利用促進を図ります。

5. ジェンダー平等の推進およびワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組みます

電機連合本部の方針をふまえ、ワーク・ライフ・バランスの実現と働き方改革を軸に取り組んでまいります。具体的には、今期 20 年目（第 16 期）を迎える男女参画委員会の取組みを中心に、加盟単組における活動の広がりを確認しながら進めます。年 2 回の委員会では、意見交換や情報共有を積極的に行い、人材育成の観点でもメンバーが主体的に参画することを促します。

また上部団体である連合静岡が方針に掲げる「ジェンダー平等・多様性推進」の視点を意識し、女性組合員の組合活動参画促進につながる取組みの他、連合の中で積極的な意見反映に努めるとともに、電機連合「地協男女平等担当者会議」に参加して他地協との交流を図りながら活発な活動展開をめざします。

6. 社会貢献活動に取り組みます

加盟組合の協力によるBOXティッシュ販売と冠行事などのボランティア基金活動をもとに、引き続き「カンボジア支援活動」に取り組みます。また、昨年同様に「腎臓バンク推進活動」「盲導犬育成支援活動」「フードバンクふじのくに支援活動」に取り組みます。

カンボジア支援活動については、コロナウイルス感染状況を確認しながらカンボジア井戸掘りボランティアを計画します。また、現地の状況を確認し、支援の方法などについて、改善を図ります。

7. 政策・制度実現に向けた政治活動の取り組みを推進します

(1) 地方自治体選挙の取り組み

2023年4月に実施される第20回統一地方選挙では地協組織内議員で沼津市議会議員の渡部一二実（わたなべかずふみ）議員（富士通労組プロダクトグループ沼津ブロック出身）の5期目、深田昇（ふかだのぼる）議員（明電舎労組沼津支部出身）の4期目、富士市議会議員選挙で新人候補として板垣恒子（いたがきつねこ）氏（富士通労組プロダクトグループ沼津ブロック出身：協力議員）を擁立し、当選に向け加盟組織一丸となって取り組みます。また、上部団体から推薦要請のあった各級選挙の立候補者には、速やかに推薦手続きを行い当選に向けて支援協力を努めます。

(2) 議員団活動の推進について

各地区協の幹事会などで組織内議員による活動報告を行います。また地協議員団会議を開催しながら連携を取り、政策制度要求実現に向け取り組みます。

(3) 電機連合静岡政治活動委員会の会員募集を実施します

地協常任幹事会役員と地協直加盟組合の協力を得て、電機連合静岡政治活動委員会の会員募集に取り組みます。

(4) 国民民主党サポーター募集の取り組み

電機連合の政治顧問、電機連合協力国会議員(国民民主党)を支援する取り組みの一環として、電機連合からの要請に応じ、引き続きサポーター登録に協力します。

8. 平和運動への取り組み

連合の平和行動に参加します。具体的な取り組み内容については、電機連合からの参加要請をもとに加盟組合に展開します。

9. 組織拡大の取り組みを強化します

1000万人連合実現プランを踏まえ、地協幹事会などで進捗状況を確認しながら加盟組織と連携して組織拡大を計画的に推進します。

加えて、電機連合一括加盟組織(労連)事務局長等と連携し、加盟組合企業の未組織グループ子会社・関連会社のアプローチを強化して参ります。

また、連合静岡とも連携を強化して、「組織拡大委員会」、「組織拡大プロジェクト」に参加し情報を共有し取り組みを進めます。

10. 中堅・中小労組への支援を強化します

通年のオルグ活動を通じて中堅・中小労組への支援を積極的にサポートしていきます。また、闘争時は地協地区闘会議の開催と巡回オルグを実施して当該労使による決着が図れるよう支援します。

11. 新任役員研修を実施します

各組織で新任となった役員を対象に地協として研修会を開催します。研修内容については電機本部の教育部と連携を取り進めます。

1 2. 東海ブロックの活動に積極的に参画します

電機連合東海ブロックにおける各種会議ならびに行事へ積極的に参画します。また、ブロック別の本部三役巡回オルグにも対応します。

*東海ブロックとして1地協減となりますが、活動に支障が出ないよう協力していきます。

(1) 2022年 8月25日(木)	最低賃金担当者会議	(三重地協設営)
(2) 2022年 未定	議長会議	(愛知地協設営)
(3) 2022年10月17日(月)～18日(火)	事務局長会議	(愛知地協設営)
(4) 2022年11月 7日(月)～ 8日(火)	フォーラム議員団会議	(三重地協設営)
(5) 2022年11月11日(金)	共済会議	(静岡地協設営)
(6) 2022年11月18日(金)～19日(土)	ユニオンセミナー	(愛知地協設営)

1 3. 地域の労働運動・自主福祉運動の活性化に向けて継続的に取り組みます

連合静岡と連携して政治活動、最賃審議、組織拡大、ジェンダー平等・多様性推進など地域の労働運動に取り組みます。

また、労福協活動および福祉事業団体の運営も含めて役員派遣の要請に積極的に対応し、自主福祉運動の一層の発展をめざした取り組みを進めます。

1 4. 新型コロナウイルスへの対応について

2022～2023年度運動方針については、引き続き新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、安全を最優先に対応を図ります。